

知ってる！？

ジェネリック医薬品活用術



【ジェネリック医薬品って何？】

ジェネリック医薬品(後発医薬品)とは、これまで有効性や安全性が実証されてきた新薬と同等と認められた低価格なお薬です。



どうして安いのか？

新薬の場合、開発期間は10～30年、費用は数十億円～数百億円かかるといわれています。ジェネリック医薬品は、新薬で既に有効性・安全性が確認された有効成分を使用しているため開発期間も短く、費用も安く済むのです。



有効性や安全性は？

ジェネリック医薬品は、どれだけの速さで、どのくらいの量の薬の成分が血液中に入っていくかを調べる「生物学的同等性試験」を行っており、効果や安全性、品質について国の審査で認められています。



へ～、厳しい審査に合格しているんだね！
ジェネリック医薬品を使用するにはどうすればいいの？



ジェネリック医薬品を希望する場合、病院や保険薬局で医師・薬剤師にそのことを伝えて下さい。左の写真のような「ジェネリック医薬品希望カード」(例)を受付に提示するとスムーズです。

※ジェネリック医薬品のない医薬品もありますので、その点をご理解ください。



ジェネリックをうまく活用しよう！



オーソライズドジェネリック

『オーソライズドジェネリック』とは、簡単に言えば「先発品と完全に同じジェネリック医薬品」のことです。主成分だけでなく、添加物、製造方法までまったく同じです。

先発品の製造メーカーがジェネリックメーカーに特許権を与えて開発しているので、先発品と完全に同じものを作ることができるのです。



アドバンスドジェネリック

ジェネリック医薬品の中には先発品と「ただ主成分が同じ」だけでなく、「製剤として工夫されているもの」があり、これを『アドバンスドジェネリック』といいます。

- 錠剤が口の中でふわっと溶けるようにしたり、ゼリー状や唾液でとけるシート状にしたりすることで飲みやすくしたもの
- シートからお薬が取り出しやすくしたもの
- 粘着性の向上やかぶれを軽減した貼りぐすり
- においを改善したぬり薬

などなど、先発品の改良版として開発されたジェネリック医薬品もあるのです。

安心の「おためし制度」もあります

最初の1～2週間だけ“お試し”として服用できる「お試し調剤(分割調剤)」という制度があります。まずは薬剤師にご相談ください。



先発品からジェネリック医薬品に変更すると、お薬の名前が変わります。

薬の重複を避け**安全**にお薬と付き合っていくために、ぜひお薬手帳も活用しましょう。

平成28年4月から、お薬手帳を持っている方のほうがお支払いが**安く**なりました！

ご不明な点がございましたら、何でもご相談ください。

柏原病院 薬剤部

